

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○平和学習の充実
主な取組	平和講話の実施		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組むため、沖縄県平和祈念資料館による平和講話等を実施する。	県,関係団体	沖縄県平和祈念資料館による平和講話の実施		
		県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 平和祈念資料館展示活動事業				平和祈念資料館展示活動事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	その他	26,975	29,840	県単等	その他	31,832
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
県内学校向け平和講話の実施と、県内学校向け平和祈念資料館利用案内説明会（1回）を実施した。				県内学校向け平和講話の実施と、県内学校向け平和祈念資料館利用案内説明会（1回）を実施する。		

活動指標名	県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	0回	1回（2回）	1回（3回）	100.0%	順調	県内小中高特別支援学校向けの平和講話の実施と、平和講話等利用案内説明会を実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年4月5日に予定通り実施した。令和6年度からは、平和祈念資料館に来ることが難しい学校には資料のみ配布するなどの工夫を行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○講話の依頼を受けた調整の際に、すでに学習した予備知識の程度や、希望する講話の内容などを聞き取り、より効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないよう臨機応変に対応する。 ○取り組み事例を紹介するなどして、各学校で、継続して取り組める平和学習のあり方を検討する。	○効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないように、既存の学習状況や、地域に関連した情報を盛り込んだ。 ○継続して取り組める平和学習のあり方として、教員対象の講話において慰霊の日等のイベントのみならず、日頃の教育活動全般を通じて行うように意識改革を促した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	平和講話では、臨機応変に対応することにより、受講者のニーズにこたえることができた。また、教員からは、平和学習に対する意識が変わったという感想もいただいた。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	引き続き、臨機応変に対応し、受講者のニーズにこたえる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保
主な取組	次世代へ語り継ぐ担い手養成講座		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 平和講話、平和に関するワークショップ等を活用し、県内教育機関をはじめ県外からの修学旅行生や外国人への情報発信に取り組むとともに、戦争体験者等から思いを継承し、沖縄戦の記憶や記録を学び次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
平和学習の推進及び次世代への継承のため、次世代に語り継ぐ担い手の育成を行う。	県,関係団体	次世代に語り継ぐ担い手の育成		
		次世代に語り継ぐ担い手養成講座受講者数		
		講座内容等の検討	講座内容等の検討	30人
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			沖縄戦の語り継ぎ手養成事業			予算事業名		沖縄戦の語り継ぎ手養成事業	
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
						主な財源		実施方法	
						当初予算額			
一括交付金 (ソフト)		委託		0	6,544	一括交付金 (ソフト)		委託	
						8,839			
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
沖縄戦の語り継ぎ手養成事業の受託者を選定し、平和講話（学習）を実践できる人材を育成するための養成講座を実施する。						沖縄戦を語り継ぐ人材を育成するための養成講座を実施するとともに、前年度の受講生に対し、フォローアップ研修を行う。			

活動指標名		次世代に語り継ぐ担い手養成講座受講者数		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		—	講座内容等の検討	40人	30人	100.0%	順調	沖縄本島会場で30名、八重山会場で10名、計40名に対して、約40時間の講座を提供し、40名の修了生を輩出した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

想定より多くの応募があり、予定より10名多い受講者数となった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
今後語り部の減少が進む中で、各団体のヒアリングを踏まえ、有効な担い手講座の実施・計画を進める。 その際、県外の事例なども参考にできるものを検討する（広島や長崎の事例）	広島や長崎の事例も参考に検討を行い、沖縄戦の語り継ぎ手を養成するために有効な講座を計画、実施することができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	戦後80年を目前に、沖縄戦を語り継ぐ機運が醸成された結果、想定より多くの修了生を出すことができた。今回は県内在住者を対象としたが、県外在住者にも機会を与える必要がある。	⑧ その他	県外在住者も対象に含め、県外でも沖縄戦を語り継いでいけるような仕組みにする。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	〇平和に関する県民意識の醸成
主な取組	ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・ 県内において平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人・団体を「ちゅらうちな一草の根平和貢献賞」として表彰し、平和に関する県民意識の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
平和に関する県民意識の醸成のため、ちゅらうちな一草の根平和貢の周知を図るパネル展を開催する。	県	ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の周知を図るパネル展の開催		
		パネル展の開催箇所数（累計）		
		9箇所	9箇所（18箇所）	9箇所（27箇所）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008405/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名				ちゅらうちな一草の根平和貢献賞表彰事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,575	0	県単等	委託	2,252
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
令和7年度開催予定の第4回ちゅらうちな一草の根平和貢献賞表彰式に向けて、パネル展等の周知活動を実施した。				第4回ちゅらうちな一草の根平和貢献賞表彰式に向けて、パネル展等の周知活動を実施する。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	10箇所	4箇所（14箇所）	2箇所	9箇所（27箇所）	22.2%	大幅遅れ	第4回ちゅらうちな一草の根平和貢献賞表彰式の開催に向けたパネル展の開催を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
沖縄平和賞の会場等でパネル展の開催を行い、県民への周知広報等を図った。しかし、平和賞の授賞式の開催年度であったため、そちらの展示を優先した結果、進捗状況が大幅遅れとなった。							

(2) これまでの改善案の反映状況			
令和6年度の取組改善案		反映状況	
ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の認知度向上のため、周知広報に取り組む。		ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の認知度向上のため、令和6年度は、沖縄平和賞の表彰式会場及び沖縄市役所でパネル展を実施した。	

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	ちゅうちな一草の根平和貢献賞の認知度を上げる周知広報に取り組む。	② 連携の強化・改善	沖縄平和賞と2年に1度交互に開催しており、周知広報等について連携・強化をしていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	○平和に関するワークショップやシンポジウムの開催
主な取組	沖縄平和賞次世代ワークショップの開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・ 平和で豊かな社会の実現に向けて、「ちゅらうちなー草の根平和貢献賞」や「沖縄平和賞」受賞団体とのネットワークを活用しつつ、平和に関するワークショップやシンポジウムの開催に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
平和で豊かな社会の実現に向けて、小・中・高・大学において平和に関するワークショップを実施する。	沖縄平和賞委員会,県	小・中・高・大学における平和ワークショップの実施		
		ワークショップの実施校数（累計）		
		3校	3校（6校）	3校（9校）
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	平和創造・発信事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	負担	11,000	24,843	

令和6年度活動内容
第12回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。

予算事業名	平和創造・発信事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	負担	17,436	

令和7年度活動計画
第13回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施した。

活動指標名	ワークショップの実施校数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値（A）	目標値（B）	達成割合 A/B		
	6校	6校	6校	3校（9校）	100.0%	順調	次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝え、平和を考える機会とするワークショップを開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ワークショップの実施校数の目標値3校に対し、沖縄カトリック小学校をはじめ他5校でワークショップを実施したため、進捗状況は「順調」と判定した。
ワークショップに参加した小中高・大学生に沖縄平和賞の意義を伝え、平和について考える貴重な機会となった。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていくとともに、沖縄平和賞の歴代受賞者と連携した取組内容とする。	次世代を担う学生に、沖縄平和賞の存在や意義等を伝え、「平和な未来を創るために、具体的にどのように行動をとればよいか」など、SDGsの取組を踏まえた国際的な視点を持ち、沖縄から平和を考える機会とすることができた。 また、第9回沖縄平和賞受賞者の日本国際ボランティアセンターや第11回沖縄平和賞受賞者のひめゆり平和祈念資料館と連携し、国外での活動報告を踏まえたワークショップを開催した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ワークショップの実施について、目標値を達成することができ、次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝えることができた。より多くの学生に沖縄平和賞の存在や意義、認知を広げる必要がある。	⑧ その他	ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていくとともに、ワークショップ実施校の地域の平準化を図る必要がある。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	○平和に関する人材育成
主な取組	国際平和ネットワーク人材育成研修の実施		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・ 平和推進に関心のある県内の若者が「沖縄平和賞」受賞団体等と連携した取組等を通して、国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう育成支援に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和推進に関心のある県内の若者が国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう国際平和関連の関係団体職員との交流や国際支援現場での実地研修のほか、国際平和ネットワーク人材育成研修事業等を実施する。	沖縄平和賞委員会,県	国際平和ネットワーク人材育成研修事業の実施		
		国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数(累計)		
		1人	3人(4人)	5人(9人)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—



予算事業名	平和創造・発信事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	17,436

令和7年度活動計画

第13回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施する。

活動指標名	国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		概ね順調
	0人	10人（10人）	4人	5人（9人）	80.0%	国際平和に関する研修等を実施し、沖縄から国際平和を発信する意欲のある県内の人材育成を行った。	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄平和賞歴代受賞者との共催により、国際協力に関する人材育成を目的としたインターン研修とオンラインフォーラムを実施した。目標値の5人に対し、4人の学生を育成できたことから、進捗状況は「概ね順調」と判定した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
共催者との事前調整について、早期に着手することにより充実したインターン研修およびフォーラムの実施を目指す。	インターンの受け入れ先となる歴代受賞団体との調整し時間を要し、契約が遅れ年末の事業着手となったものの、応募者数21名の中から4名の学生を選考し、歴代受賞団体へのインターン研修に加え、その成果発表も兼ねたフォーラムを実施することができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業の受託先の選定や仕様の検討に時間を要したため、契約が12月、事業実施が年明けとなり、インターン研修から報告会まで十分な準備期間を設けることができなかった。	⑦ 取組の時期・対象の改善	インターン研修を学生の夏休み期間に実施するため、早期に受賞団体と調整をはじめ、10月下旬の報告会実施を目指す。